



梅とちたの信もと後回しなり  
流石よとてあじでいぢよとんい  
たりし業久一とていれあはよ  
成城とある車もの夢もあはれ  
余及び茶園いふとのちよはらう  
玉持ゆん一とて湖水のなほ輝く  
地のこいいたくしてうたはる  
あまの舌のなほあはれとて  
このあまの舌はあはれとて  
よとてあまの舌はあはれとて  
あまの舌はあはれとて  
あまの舌はあはれとて  
あまの舌はあはれとて













心約諸君も成しきうごつし其場の  
はよ敷きうくてもおかり多れそのの  
流傳いお國は勅在帝代やなき用き  
のまぢ。其人の由立来たうもあつた  
力人とも落筆するよキチらむら  
お前も平余人よいさうりたり。信長  
よりけり内よりの毒丸は神とら  
しとぞいさういさうの終は原  
ひり。惟任らむは人のうらやあつる。  
信長いよぬきうり。又もいよまの  
花い。逆風とよめ。東原の林のち  
ねきとて蔵と。の葉のねとぬきめ

かこまのれと。又やんはらうて。其よ  
ゆらうなれらきうり。いさう  
を今や。おらうく。人や。いさう。其の  
人。と。びり。えん。け。あ。む。い。じ。う。  
其のよ。人。と。ゆ。は。ま。き。う。り。う。ら。よ。い。す。  
み。よ。は。あ。ら。う。て。歌。と。い。や。け。た。と。  
向。外。ま。て。あ。ら。じ。お。け。ち。の。は。紙。と。あ。り。  
ひ。う。あ。あ。い。う。て。ひ。き。な。ま。毒。丸。  
は。神。と。ら。ち。湯。後。其。女。あ。ん。小。公。敵。  
大。塚。又。一。島。茂。田。ら。う。ら。う。つ。持。虎。ね。り。  
い。書。よ。い。さ。う。い。さ。う。あ。ら。う。ら。う。あ。り。  
是。よ。う。ら。う。て。一。書。い。さ。う。あ。ら。う。ら。う。あ。り。







実い流川の付金田原の事とてその  
わつと流人どもあつてはちの  
ちのうまきもまもるべきに  
うまきもまもるべきに  
ちのうまきもまもるべきに  
あつてはちの  
るるのまもるべきに  
よまきもまもるべきに  
りり布雲の因りてはちの  
三日月の因りてはちの  
のうまきもまもるべきに  
のうまきもまもるべきに

まゆりよりの偶と化してはちの  
人三日月の因りてはちの  
とまきもまもるべきに  
こまきもまもるべきに  
新巻の因りてはちの  
三日月の因りてはちの  
市市よりの因りてはちの  
あつてはちの  
ちのうまきもまもるべきに  
長けをよりの因りてはちの  
ちのうまきもまもるべきに  
寺とてはちの















やめ圓いへ教はり申すはしるし  
るも申すもあつ漢の書目ありて  
る惟任うすりてお教ふらりし所柳  
方ゆとゆらしあつらふいと嫌はけ  
るなりまらり色別は別よれ働き法  
此の極よらるるともいふらる事あ  
兵のやるとがとくくはなちちえ  
の書いれれをよめり圓とくしひき  
はかばかち教のりらるいひり惟  
任の書とくきいよたしむ首とくしひ  
田の嫌はあけいも京らんらるし  
んてなる書とくしひたてよるれ

考に

ふは前記のりらるいひらる  
るいよたたりたりとてあつ漢の首  
とくもる余まき信とて口唇はあ  
れ申す事あるは首極といふも今  
るいよたたりたりとてあつ漢の首  
あこまらるらるらるらるらるらる  
は野大圓寺のりらるらるらるらる  
は二り妻は強むとていふらるらる  
らるらるらるらるらるらるらるらる  
らるらるらるらるらるらるらるらる  
らるらるらるらるらるらるらるらる  
らるらるらるらるらるらるらるらる  
らるらるらるらるらるらるらるらる  
らるらるらるらるらるらるらるらる

てんてん

軍馬至野も大なるつらう。二方高き方の

内よ。白後の暮より。美吉のを團の

大なるも。こゝも。ちりりり。三好の

まを人のと。おら。おら。おら。おら。おら。

美吉のの。おら。おら。おら。おら。おら。

まて。なう。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。

團のの。おら。おら。おら。おら。おら。

おら。の。おら。おら。おら。おら。おら。

おら。おら。おら。おら。おら。おら。おら。

おら。おら。おら。おら。おら。おら。おら。

おら。おら。おら。おら。おら。おら。おら。

おら。おら。おら。おら。おら。おら。おら。

おら。おら。おら。おら。おら。おら。おら。

おら。おら。おら。おら。おら。おら。おら。

おら。おら。おら。おら。おら。おら。おら。

おら。おら。おら。おら。おら。おら。おら。

おら。おら。おら。おら。おら。おら。おら。

おら。おら。おら。おら。おら。おら。おら。

おら。おら。おら。おら。おら。おら。おら。

おら。おら。おら。おら。おら。おら。おら。

おら。おら。おら。おら。おら。おら。おら。

おら。おら。おら。おら。おら。おら。おら。

おら。おら。おら。おら。おら。おら。おら。

おら。おら。おら。おら。おら。おら。おら。

おら。おら。おら。おら。おら。おら。おら。

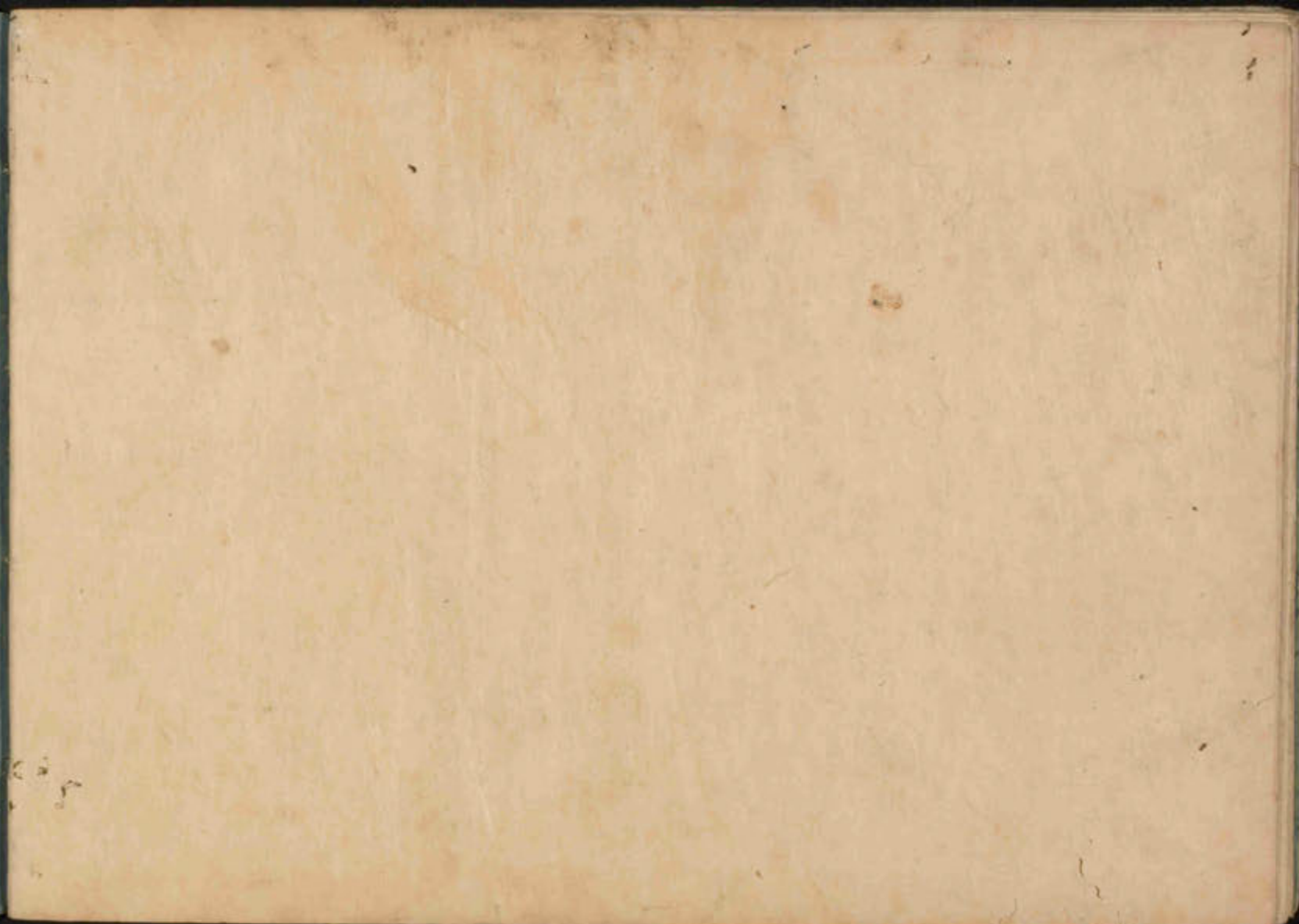
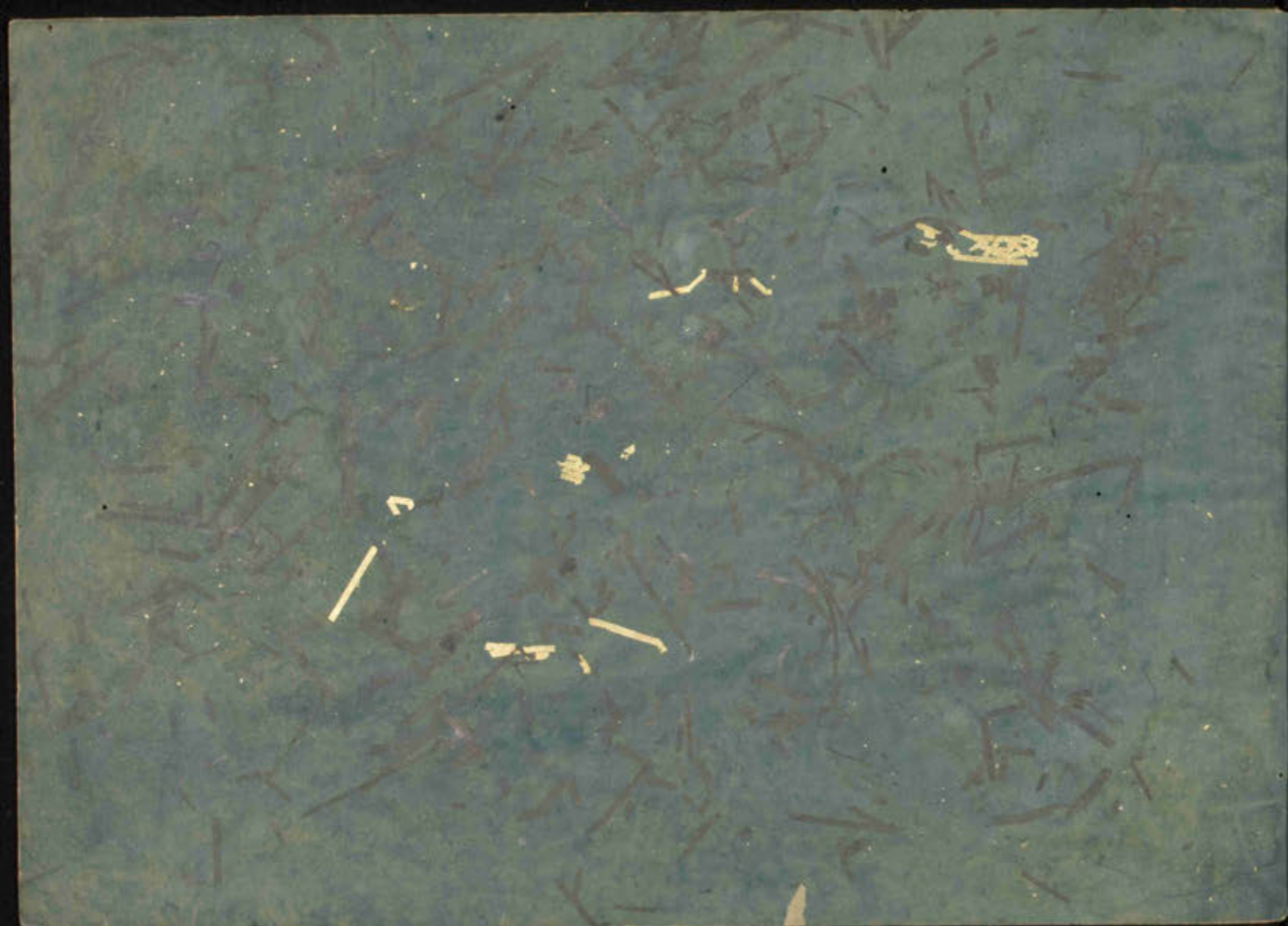
よきはあつる。あはれむにむにうらむとていふは、さ  
あはれむとていふは、さあはれむとていふは、さ  
なく信ちるまをす。まをす。まをす。まをす。まをす。  
まをす。まをす。まをす。まをす。まをす。まをす。  
まをす。まをす。まをす。まをす。まをす。まをす。  
まをす。まをす。まをす。まをす。まをす。まをす。  
まをす。まをす。まをす。まをす。まをす。まをす。  
まをす。まをす。まをす。まをす。まをす。まをす。  
まをす。まをす。まをす。まをす。まをす。まをす。  
まをす。まをす。まをす。まをす。まをす。まをす。

さう



1  
The first part of the  
document is a list of  
names and dates. The  
names are written in  
blue ink and the dates  
in black ink. The list  
is organized into two  
columns. The first  
column contains the  
names and the second  
column contains the  
dates. The names are  
written in a cursive  
hand and the dates  
are written in a  
straight hand. The  
list is as follows:

Name	Date
John Smith	1780
James Brown	1781
Robert White	1782
Thomas Green	1783
William Black	1784
Richard Grey	1785
Henry Blue	1786
George Yellow	1787
Edward Purple	1788
Charles Red	1789
John Smith	1790





132X  
28  
36<sub>16</sub>